



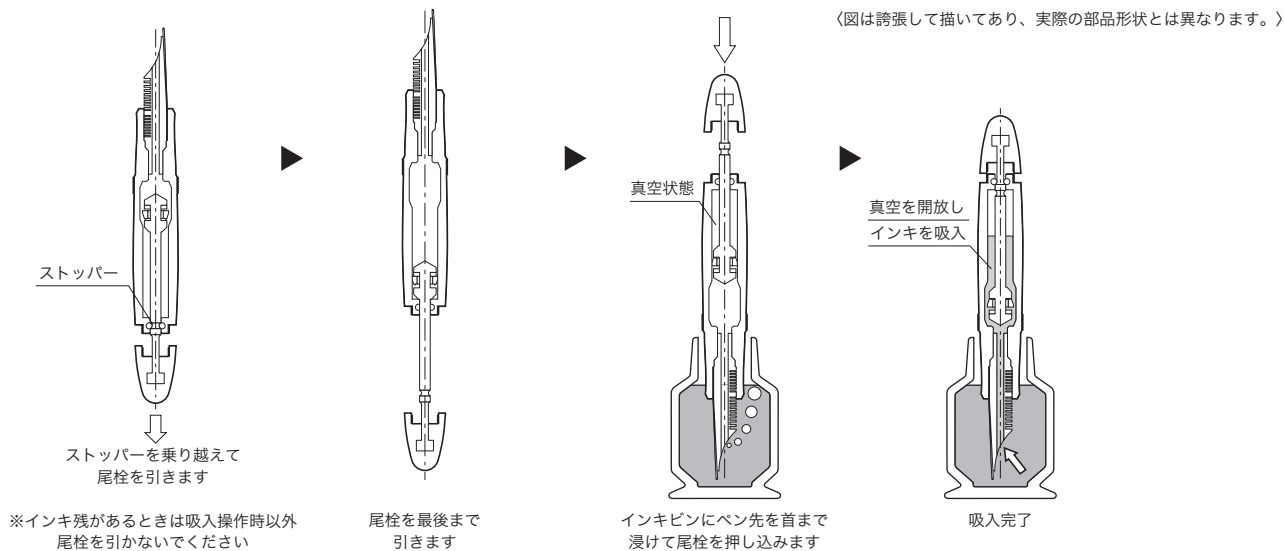
P式万年筆のご使用方法



<http://www.pilot.co.jp/>

インキの入れ方

吸入操作



■インキの吸入について

- 本製品はインキ吸入機構が本体内に組み込まれておりますので、カートリッジインキ及びコンバーターはご使用になれません。
- ※インキは当社製70mlのボトルインキ（INK-70）をご使用ください。当社製であっても30ml、50ml、60mlのボトルインキではうまく吸入できませんのでご了承ください。
- 70mlボトルインキはピンの蓋を閉めた状態で一度逆さにし、元の向きに戻すことで、アダプタ（ピンの中央の筒）にインキが溜まり、吸入できるインキの深さが確保できます。
- 準備ができたなら万年筆のキャップを外し、必ずペン先を上に向けて尾栓のネジをゆっくりゆるめます。
- 尾栓を最後まで引いたら、ペン先を下に向けて、万年筆を首までインキに浸します。アダプタ（ピンの中央の筒）に万年筆を止まるまで挿入すれば最適位置です。

ご注意 本製品は、不用意に尾栓を引いてしまわないように、尾栓の引き始めにやや抵抗があります。（ストップパーと呼びます）2段ストップパーとなっております。ストップパーを乗り越えて尾栓を引いてしまうと、軸内にインキが残っている場合はインキを排出しない限り尾栓を押し戻し収納する事が出来なくなりますのでご注意ください。

- 万年筆を垂直に支持し、尾栓をまっすぐに押し込みます。尾栓を押しきったところで、一気にインキが吸入されます。
- 吸入が済んだら、そのままの姿勢で尾栓を時計回りに回し、一旦ネジを閉めておく方が安全です。
- 吸入後はインキの滴下に注意して、万年筆をインキピンから引き上げ、ペン先を上に向けて柔らかい布または紙で余分なインキを拭き取ります。特にペン先やペン芯以外のところに付着したインキは完全に拭き取ってください。

筆記操作

- 万年筆のキャップを外し、必ずペン先を上に向けて、尾栓のネジをゆっくりゆるめます。尾栓が空回りするようになったら、尾栓端面と金輪との間に約2mmの隙間が開き連続筆記が可能となります。
- 筆記が終わったら、ペン先を上に向けて、尾栓のネジをゆっくりと最後までしめてください。

お手入れと保管

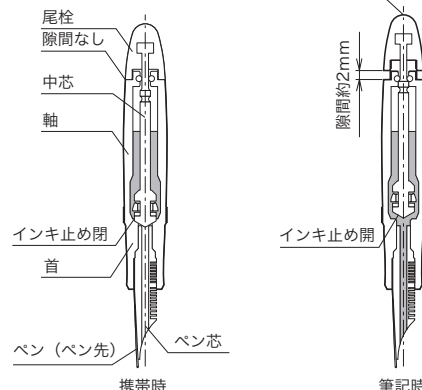
- 高温、低温、直射日光を避け、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 長期間ご使用にならない場合はインキを排出し、清浄な水で何度か吸入、排出して内部を洗浄してください。
- 本製品は精密な特殊部品を使用しておりますので、お客様ご自身での修理はなさないでください。

注意

- 筆記以外には使用しないでください。
- 幼児の手の届く所に置かないでください。
- ペン先は鋭いので人体に触れないようご注意ください。
- 尾栓はみだりに引っ張らないでください。
- インキによる汚損を防ぐため、筆記時以外は必ずキャップ及び尾

筆記と携帯

筆記時には、ペンを上向きにして尾栓をゆるめ、隙間を約2mm開けます。尾栓は引っ張らないでください!



栓を閉めておいてください。

- 必ず当社製の万年筆用インキをご使用ください。
- 気圧の変化により、インキのぼた落ちや吹き出しが起る可能性がありますので、航空機ではご使用にならないでください。